

児童発達支援事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和2年10月20日

事業所名:こども発達さぽーとセンターるぼろ

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	部屋の広さとして基準を満たしたうえで、子供たちが落ち着きやすい空間や配置を心がけています。活動に応じて場所を使い分け、密にならないように取り組んでいます。	はい 23 どちらともいえない 1 いいえ 0 わからない 1 ・園庭など広く、子どもが走り回って遊べる環境が整っていてうれしいです ・実際の活動の場、様子を見ていない(コロナで見られない)ので評価するのに十分な情報がなくわからないとしました ・保護者が付き添いなので少し狭く感じます	活動に応じて部屋や場所を使い分けます。密を避けることを意識しながらも、小集団での活動が楽しめるように活動内容を考慮していきます。整理整頓を心掛け、有効にスペースを活用していく。
	2	職員の適切な配置	基準は満たしています。各グループにおいては、必ず複数担任で対応し、必要に応じて専門職員も日中活動に参加し子どもに関わるようにしています。	はい 19 どちらともいえない 1 いいえ 0 わからない 5 ・あまり人数を把握できないため ・一人の子どもにいろんな職員が関心をもってかかわってくれているので安心です ・実際の活動の場、様子を見ていない(コロナで見られない)ので評価するのに十分な情報がなくわからないとしました	新型コロナウイルス感染症対策のため、活動の様子など見て頂くことが困難になっていたもので、状況を考慮し、対策を取りながら療育参観月間を設定した。実際に見て頂くことで共通理解がしやすくなった。状況を見極めながら、今後も設定したいと思っています。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	必要に応じて絵カードでスケジュールを提示したり、活動の手順を写真で提示したりしています。また、身支度スペースがわかりやすいように、スムーズに動けるように棚の配置を変更したりしています。	はい 24 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 1 ・子ども一人でどこに行ったらよいのかわかっているみたいで、安心できる所なのだと思います	一人一人の特性を考慮しながら、本児に合った手立て、支援が出来るように見立てが偏らないよう意識しながら職員間で意見を出し合い、共通理解して環境設定に努めたいと考えています。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎朝清掃をしています。使った遊具や室内は終了次第、除菌ふき取りをするなど環境を整えています。	はい 24 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 1 ・裸足でも動いても大丈夫なくらい環境を整ってくださっていると嬉しいです	今後も継続していきます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月に1回職員会議の時間を設け、その中で提案、相談の場を持つようにしています。		今後も職員会議の中で業務の負担などについて話し合い、改善できる部分は変更していきます。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していません。		今後、外部の専門的評価を受審出来るよう努めていきます。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員がそれぞれ必要な研修に参加したり、職員研修として園全体での研修を受けています。コロナ感染症対策のためスーパーバイズの予定がたなかった。		今後も積極的に研修に参加しながら、スーパーバイズの計画をしていきたいと考えています。
適切な支援の提供	1	こどもと保護者のニーズや課題がしっかりと反映されたうえで、児童発達支援計画又は放課後デイサービスが作成されているか	各担当者が実際に子どもの姿を見たり保護者からの聞き取りを行いながら支援計画の作成を行っています。また月に1回の職員会議において支援方法についての相談ができる時間を設けています。	はい 25 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 0 ・子供の成長に応じていろいろ考えてくださっていると思います	各担当者が責任をもって計画するが、対象児の読み取りや支援については職員間で話し合い、相談しながら計画を立てています。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの必要性に合わせて必要な支援が行えるよう、カンファも行いながら、各担当者にも意見を求めて支援計画の作成を行っています。		
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援計画の中で専門用語を少なくし、できるだけ具体例を挙げるなどしてわかりやすく書けるように努めています。	はい 25 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 0 子供の成長に合わせていろいろ考えて下さっていると思います	引き続き、具体的な計画を立て、職員間で共有し、実行できるようにしていきます。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画作成時、目標一覧も作成。支援での問題が感じられた時には声を掛け合い、改善に努めています。また、認めあい楽しむ気持ちを大切にしています。	はい 23 どちらともいえない 1 いいえ 0 わからない 1 ・子どもの発達に合わせてくださってます。	職員間での周知に取り組み、計画に沿った支援が行えるように相談、話し合いを重ねながら実施していきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	「今月の活動」として各グループが共通のプログラムを基に、担当で相談し活動を決定しています。		グループの担当者を中心にしながら、関係職員が連携し合い、子どもにあった活動を計画していきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	コロナ過でも閉鎖することなく対策を講じながら、発達支援、家族支援が出来るように状況に合わせてながら療育を実施しました。		状況、個々の必要性を十分に考慮しながら療育の提供(支援)を続けていきます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供 （続き）	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	必要に応じて活動のある程度固定化して定着を図っていることもあります。また、季節に応じた遊びや活動を取り入れることで基本的な成長、発達の支援をしています。	はい 19 どちらともいえない3 いいえ 0 わからない 3 ・手先の動きや運動面などいろいろな支援をしてくれています ・おもちゃの時間が少し長いような気がします。 ほかの活動がもっと増えたらより楽しい時間が過ごせるように思いました。	子どもの特性に応じて活動のある程度固定化することで遊びや生活が安定することがあります。固定化して定着させる部分と、毎回の活動に変化を持たせ目的をもって発達支援していく部分を意識しながら実施します。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	担当者同士で活動内容や役割を相談してから活動を行っています。		引き続き、担当者間で共通意識を持てるように相談をしていきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	時間を決め反省会を行っていましたが、それぞれが抱える仕事が多様化してきたことにより、揃っての振り返りはできなくなっています。しかし、気になったことや反省があれば個人ごとにですが情報を発信しています。		療育終了後に、担当者間で次回の確認事項などを確認し、必要なことは職員に周知できるように声をかけています。特性に応じた支援を行うことが出来るように工夫していきます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個人記録の様式を変え、記入上のポイントについて話し合いました。子どもの姿に対し、支援者の手立てを記入することにより、支援者自身の振り返りができ支援方法を考えることが出来ています。		各担当者が記入した記録に対して管理者が目を通し、全体の状況を把握し支援の検証をしたり、改善につなげていきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に1回支援計画の見直しを行っています。モニタリングは他事業所を含め、月に1回のモニタリングを行っています。		保護者の意向と子どもの発達を踏まえて見直し、より適切な支援を行っていく。継続していきます。
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	子どもに応じて小集団や個別療育の担当者が担当者会議に参加しています。		引き続き、子どもの状態を把握している担当者が担当者会議に参加し、他事業所と共通認識をもてるようにしていきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者を通じて、または保護者の了解を得たうえで、学校、園、所との連携を行っています。学校、園、所の担任の先生が見学にこられ、子どもの状態や情報を共有しています。		引き続き、関係機関と担当者会議を行ったり、報告書を通して支援方法を伝えるなどして情報を共有していけるようにします。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて専門機関との連携をしています。		今後も引き続き、必要に応じて情報を収集し専門性を高めるため、必要な研修に参加していく。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	交流を持つ機会を作れていません。	はい 12 どちらともいえない 3 いいえ 1 わからない 9 ・保育園のクラスに入って交流させてもらったり、子どもにとっていい刺激になっていると思います	社会状況も踏まえながら出来る交流を考えていきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	今年度は新型コロナウイルス感染症が流行したため活動には慎重になっています。		今は無理をせず、時期を見て再開し、地域に開かれた運営が出来るように努めます。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・毎回契約時に重要事項説明書で説明をしています。 ・契約内容の変更時には変更内容をお伝えしています。 ・療育終了後のフィードバックで毎回支援内容をお伝えしています。	はい 24 どちらともいえない 1 いいえ 0 わからない 0 ・理解しています	引き続き、支援の内容、利用者負担等について変更があったときには適宜保護者の方にお伝えしていきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画は保護者の方に時間を頂き、読み合わせながら内容の確認を行っています。了解を頂き捺印をして頂きます。	はい 24 どちらともいえない 1 いいえ 0 わからない 0 ・丁寧に説明して下さっています	引き続き丁寧な対応を心掛けていきます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	年に数回親講座を実施し、保護者の方に参加していただいています。就学前の保護者に対しては子ども理解、成長確認、共通理解等を兼ねて、サポートブックの作成を作っていただきます。	はい 21 どちらともいえない 1 いいえ 0 わからない 3 無回答 1 ・子供のことで困っていることを親身に聞いてくださり感謝しています。	今後とも個別対応を基本に、保護者への支援を実施していきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	保護者との共通理解に関しては、支援者の思いであったり、考え方に左右されることが考えられる。状況や内容について担当者が話し合い保護者への対応をする。対応者が固定されないようにも配慮した。	はい 23 どちらともいえない 1 いいえ 0 わからない 1 ・いつも迎えに行くと丁寧な報告、子どものことがわかってうれしいです。 ・子供のことで困っていることを親身に聞いてくださり感謝しています。	必要に応じて連絡ノートを使用できるようにします。全体のフィードバックのみでは伝えきれなかった事については個別に声をかけさせていただきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者の方から相談があったときには面談の時間を設定し、個別でお話をさせていただいています。	はい 24 どちらともいえない 1 いいえ 0 わからない 0	相談があるときには時間をとらせていただくことを再度全体に周知させていただきます。声をかけて頂きやすい姿勢作りをしながら、気になる保護者には声をかけていけるようにします。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会を設けていませんが、保護者支援も大きな目標の一つである。卒園児の保護者を招いて就学前の座談会や親講座を通して保護者が話しやすい環境を作っている。	はい 9 どちらともいえない 4 いいえ 1 わからない 11 ・まだ保護者会等への参加なしのため ・保護者会など参加をしていないのでわかりません ・先日の就学に向けての親講座、大変有意義でした。しかし受講＋ディスカッションでは親同士の連携とまではいかないのではと感じました。(個人の問題かもし	今年度は児童から小学生、小学生、中学生から高校生と場面ごとに集える機会を持っています。情報提供の要素が強いですが、顔合わせをすることで交流を持てるように勧めていきたいと思います。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	重要事項説明書に記載しており、契約時にもお話をしています。苦情があったときには当日に保護者と面談を行ない対応しています。	はい 12 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 12 無記入 1 ・苦情はしたことがないのでわからない ・苦情をもったことがないのでわかりません ・そのようなシチュエーションがまだないのでわかりません	引き続き、苦情対応マニュアルに従って、迅速に対応していきます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	小集団終了後に毎回フィードバックを行っています。 写真やビデオでお伝えすることもあります。 子どもに対しては必要に応じてカードを使用してスケジュールを提示しています。	はい 23 どちらともいえない 2 いいえ 0 わからない 0 ・毎回のフィードバックで教えて下さってま	保護者の方へ理解しやすい表現を用いることや、コロナが落ち着けば実際に活動を見て頂く機会を設ける。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月るぼろ便りで予定や書くグループの活動紹介、当月の活動予定(内容)や避難訓練実施の報告などを行っています。	はい 24 どちらともいえない 1 いいえ 0 わからない 0	引き続き、継続していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に個人情報の取り扱いについて説明し、了承を得たうえで同意書にサインを頂いています。職員の意識向上にも気を付けています。	はい 21 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 4	引き続き、個人情報を厳重に取り扱っていきます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・はおとの森こども園と一緒に感染症対策委員会を立ちあげて、時々研修を行っています。また、流行時期に合わせて情報発信をしています。	はい 17 どちらともいえない 1 いいえ 1 わからない 6 ・よく分らないです。	今後、保護者に配布するお便り等で訓練や研修などのようすをお伝えしていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	毎月1回、施設全体で様々な場面を想定し訓練を実施しています。放課後ディサービスの時間に実施することは少ないですが、職員はスムーズに対応できるように訓練を行っています。	はい 11 どちらともいえない 0 いいえ 1 わからない 12 無記入 1 0・この前訓練があつてなかなか言ったとおりにしてくれないので職員の方が大変だと思いますが、子どものためにありがとうございます	引き続き、避難訓練を実施(内容)したことを毎月のるぼろ便りでお知らせします。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止に関する責任者を選定し、虐待の防止を啓発・普及するための研修を実施しています。		リスクマネジメント会議を行ったり、職員間で情報を共有していきます。子どもの尊厳や人権を守るための研修を行い、職員の意識を高めていく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等ディサービス計画への記載	重要事項説明にも記載し説明をしています。必要がある場合は個別に保護者との懇談を重ね双方承知、合意のもと行うこととします。		今後やむを得ず拘束が必要な場合には、担当者会議で代替え不可かどうか検討し議事録を残し、個別支援計画への記載と保護者への説明・同意を得たうえで適切に対応する。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時に保護者に確認、チェック表の記入をして頂き必要であれば調理師との懇談をして頂きます。クッキング等で食材を扱う時には、保護者の方に使用する食材の中でアレルギーがないか確認をしています。		アレルギーに関するリスクを十分理解し、子どもの命を守るため、今後も適切に対応していく。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリとした場面があったときには報告、記載し、状況を周知できるように報告しています。ヒヤリに気づけるように職員間で声を掛け合っています。		引き続き、危ない箇所をヒヤリハット報告書を通して全体で情報を共有し、配慮すべきことを確認する。ヒヤリハットを集積・分析し、事例集を作成していく。